

# 議会だより

しろたか

議会の録画中継を配信中！  
町のホームページから

2018年1月15日発行  
(平成30年)

Vol.137

山形県白鷹町議会  
12月定例会

## 「おまつり大好き」

さくらの保育園 しし舞あそび 11頁に関連記事

### 町に4つの提言 . . . . . 2p

- ・ ふるさと納税、増加に期待 補正予算審議 . . . 4p
- ・ ここが聞きたい 一般質問2人の議員が町政を問う . . 6p
- ・ 追跡あの事業は今 デマンドタクシー . . . . . 15p
- ・ シリーズ まちのドクター先生！ . . . . . 16p

# 町に4つの提言



しらたかの宝もの

## 提言3 主要道路網の整備促進

- ◆新荒砥橋の着実な完成と西廻り幹線道路の早期実現
- ◆道路・水路等の改良や補修の施工順序の「見える化」
- ◆国道287号下山・菖蒲地内の早期改良と国道348号の安全対策の国・県への働きかけ



せまい国道（菖蒲地内）

## 提言4 経済の活性化

- ◆若者・女性の定住に向けた就労の場の確保
- ◆持続可能な農業の確立に向けた支援策の充実
- ◆森林・林業再生のための路網の整備・間伐作業等への支援
- ◆新栗子トンネルの開通にともなう受注拡大や観光振興に向けた広域的施策の展開



これなあに？（白鷹産業フェア）

## 12月 定例会

定例会は12月5日から12日までの8日間で開催され、  
●平成29年度補正予算7件 ●条例改正5件 ●工事請負  
契約の一部変更1件 ●町道の認定1件 ●指定管理者の指定6件  
について審議し、原案のとおり可決しました。  
た。一般質問は2議員が行い、町政全般について問いました。

# 安心して暮らせるまちを



## 政策提言書を提出

議会では、町の課題を協議し、新年度予算に反映されるよう12月6日に、町長に提言書を手渡しました。

### 提言1 少子・高齢社会における対応

- ◆子育てへの経済的支援・保育の充実や小児医療の確保
- ◆出会いの場の創出など婚活支援策の実施
- ◆Ｉターン・Ｕターンなどの積極的な移住推進
- ◆町立病院の医師確保をはかり、医療体制の充実



さつまいも掘ったよ（ひがしね園児）

### 提言2 安心安全なまちづくり

- ◆豪雨災害箇所の再被災対策
- ◆地域の実情に応じた機動的な除排雪の実施
- ◆危険交差点の早急な安全対策の実施
- ◆まちづくり複合施設の町民への丁寧な説明・周知



冬の力持ち

補正  
予算

## ふるさとと納税 増加に期待

## 質 疑

**ふるさとと応援寄附金の現状は**

**委員** ふるさと応援寄附金の現在の状況と今後の見通しは。

**当局** 件数は10月末で2069件。金額にして5332万2100円、前年度比26%の増。3月末には前年度比10%の増となる見込み。

**白鷹病院の患者数見込みは**

**委員** 白鷹病院の患者数の現状は。

**当局** 患者数は10月末現在、前年度比2%の減。入院患者数はのべ約2000人の減。

**委員** 患者数が減少している反面、検査が2・3カ月待ちの現状に対応は。



医師確保と  
診療科の充実を！

**当局** 常勤医師が4人。町内で大腸の内視鏡検査するのは町立病院だけなので、混み合っている。患者の状況を見て対応している。



東京での移住相談会

## 一般会計補正の主なもの

**ふるさと応援費 6794万円**  
寄附者の増加見込みにより、基金積立及び謝礼等について追加計上するもの。

**福祉灯油券助成事業 318万円**  
高齢者世帯等の経済的負担軽減のため、灯油購入に対して1世帯5千円を助成する。

**障害者自立支援給付事業 1750万円**  
障害福祉サービス等の給付見込みにもとづき、追加計上するもの。

**こども園施設型給付費負担金等 3946万円**  
**保育園運営委託料 1332万円**  
入所実績、保育単価の改定、保育士の処遇改善等に対応するため、追加計上するもの。

**病院費（経営基盤強化費） 5000万円**  
病院事業会計の経営状況を勘案した対応。

**園芸大規模団地整備支援事業 780万円**  
「えだまめ収穫機」等の整備への支援。

**観光4シーズン化推進事業 330万円**  
鮎まつり会場の台風被害に対する支援。

**道路河川災害復旧事業費 150万円**  
中丸池の底樋工事の構造設計を行うもの。

など

◎ 財源は国、県支出金、繰越金などで対応します。

| 平成29年度補正予算総括表 |        |          |           |
|---------------|--------|----------|-----------|
| 会 計 名         |        | 補正額      | 補正後の額     |
| 一 般 会 計       |        | 2億3702万円 | 98億1815万円 |
| 特別<br>会計      | 下水道    | 14万円     | 5億3687万円  |
|               | 農業集落排水 | 6万円      | 1億6961万円  |
|               | 介護保険   | 121万円    | 17億4718万円 |

※万円未満は端数を調整しています。

## 条例

- **白鷹町町税条例の一部改正**  
地方税法等の改正により、固定資産税の地域決定型地方税制特例措置の割合の設定等を行うもの。
- **白鷹町産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除条例の一部改正**  
法律名が改められたことによる改正。
- **白鷹町営住宅条例の一部改正**  
公営住宅法の改正により、収入申告等が困難な入居者の手続きの簡素化をはかるもの。
- **白鷹町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正**
- **白鷹町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正**  
人事院勧告に準拠し、白鷹町職員の給与を改定するもの。

## 契約

- **鮎貝中継ポンプ場移設（土木・建築）工事請負契約の一部変更**

（仮設工事の工法変更によるもの）

変更前 6 4 2 6 万円

変更後 6 9 5 4 万 5 5 2 0 円



## 町道認定

- **町道路線の認定**

認定する路線

路線名 動免喜落合線

起 点 十王字動免喜 6 5 0 - 7

終 点 十王字動免喜 6 5 0 - 3

## 指定管理者の指定

地方自治法にもとづき、各指定管理者に各地区コミュニティセンターの管理を行わせるもの。期間は平成30年4月1日から平成33年3月31日まで。

施設と管理者名は下記の通り。

- **蚕桑地区コミュニティセンター**  
蚕桑地区桜の里づくり推進委員会
- **鮎貝地区コミュニティセンター**  
鮎貝地区まちづくり協議会
- **荒砥地区コミュニティセンター**  
荒砥地区コミュニティ運営協議会
- **十王地区コミュニティセンター**  
十王地区自治振興会
- **鷹山地区コミュニティセンター**  
鷹山地区自治振興会
- **東根地区コミュニティセンター**  
東陽の里づくり協議会



「熱いからフウフウしてね」

鍋合戦でにぎわう、  
蚕桑コミセンまつり



「レッツ・スタディ・イングリッシュ！」

地域  
十王、  
はなまる塾  
の力で学習支援

# 防火水槽の有蓋化は

## 町長 消火栓への移行なども検討



佐々木誠司 議員

通信機器が一切使えない時の対応は

問

高齢者世帯が増えている中、

災害や停電時の情報伝達、安否確認などはどうのように計画しているのか。

町長

自主防災組織、民生委員との連携による対応を基本として考えている。地域内連携の、より一層の充実をはかりたい。また、町内21か所の屋外スピーカー、町の公用車やコミセンの広報車も活用し情報発信したい。

聞き取りにくいJアラートへの対応は

問

屋外スピーカーの音声が届かないため、Jアラート緊急情報が伝わらない地域があるようにだが、対応は。

総務課長

住環境や気象状況等により、聞き取りにくい地域があることは承知している。増設ではなく、ほかの周知伝達方法の検討も行いながら対応しなければならぬ課題と認識している。

防火水槽の管理負担は

問

土砂の流入や地域の高齢化と世帯数の減少等により、管理の住民負担が大きくなっている。今後の対応は。

町長

各地区から有蓋化の要望も多いが、高額な費用を要するため、財政計画を踏まえて推進していきたい。

管理に対する支援のあり方や、場所によっては消火栓に移行することなども検討していきたい。

水圧不足の消火栓は

問

水圧が弱く、迅速な消火活動に支障をきたす箇所があるようだが、対応は。

町長

現在3か所確認している。詳しく状況を調査し、水道管の更新または貯水槽への移行など、方法を十分に検討し、対応していきたい。

自動体外式除細動器（AED）の増設は

問

介護予防教室や高齢者のサロンなど、地域での行事が増えている。コミセン分館など地域の集会施設にもAEDの設置を検討できないか。

町長

すでに主な公共施設に設置しているが、地域施設への増設は、効率性を考え慎重に検討したい。

総務課長

現在町が所有しているものを、行事の際に



救命への関心が高まっている

貸し出しなどできないか、研究していきたい。

運転免許を持たない若手消防団員への対応は

問

マニュアル自動車運転の免許を持たず、消防車両を運転できない若手団員が増えている。免許取得に対する支援など、町の考えは。

町長

状況について消防団の意見を聞きながら、方向性を打ち出していきたい。

高齢者世帯にJアラート情報が伝わりやすい施策を。

# 高齢男性の介護予防対策は

## 町長 集まりに出向き、介護予防の重要性を説明する



菅原俊一 議員

### ◆高齢者支援◆

#### 介護予防の効果検証は

問

高齢者支援事業の介護予防効果の検証はどのようなよう  
に行うか。

町長

「八乙女げんき塾」などでは、個別の「基本チェックリスト」を参加当初と年度末に比較。継続や他事業への移行を検討する。

「元気わくわく教室事業」などでも効果検証の必要性は感じている。来年度からは体力測定などで効果の検証を考えている。

### 利用者の感想は

問

事業を利用する皆さんの感想や、今後の展開に役立つ声をいただいているか。

町長

様々なご意見をいただいております。より利用しやすい事業とするための参考にしていきます。

### 男性参加を促す対策は

問

予防教室やサロンの参加者は女性がほとんど。男性の参加を促す対策は

町長

「八乙女げんき塾」で84人中5人、「元気わくわく教室事業」では107人

中8人と、男性の参加が非常に少ない状況。体験教室の開催や高齢者の集まりに出向き介護予防の重要性を説明していく。

### ◆子育て支援◆

#### 「子育て世代包括支援センター」設置のスケジュールは

問

母子保健法の改正で設置が決まったが、町の取組みは。

町長

可能な限り早くに設置したい。設置で役割や機能が明確になり、ワンストップでの包括的なサービス提供が可能となる。

### きめ細かな取組みは

問

妊婦さんに寄り添うきめ細やかなサポートはどうしているか。



にこぽーとで家族とふれあい

町長

保健師が直接面談し必要なアドバイスを行いながら母子健康手帳を交付している。

また、妊婦や家族が対象のマタニティ・クラス開催や個別相談、家庭訪問を実施している。

子育て期も切れ目なく支援に努める。

### 支援事業の周知を

問

子育て支援事業を直接保護者へ説明する機会と、情報交換の場を作ることが大切と考えるが。

町長

直接の説明は、今後の選択肢として考えていく。

### SNSツール活用を

問

若い世代が多く利用するSNSのツールも活用すべきではないか。

### 健康福祉課長

SNSの活用は、様々な可能性を探っていくが、直接の相談・支援が基本であると考

男性参加が少ない原因を究明し参加しやすい対策を

## 総務厚生常任委員会

### 変わる地域のすがた

12月7日に委員会が開催され、「鮎貝区と黒鴨区の統合」「文書配付計画の見直し」について説明を受けた。

#### 鮎貝区と黒鴨区の統合

##### 2区が統合に

##### 【経過】

黒鴨区は、現在の世帯数が20世帯であり、区としての体制維持が困難となったため、鮎貝区に統合の検討を要請した。その結果、9月25日に統合の合意に至った。

##### 【統合時期】

平成30年4月1日

##### 【統合後の名称】

鮎貝区（黒鴨区は鮎貝15町内となる。）



#### 文書配付計画の見直し

##### 月2回から1回に

##### 【見直しの背景】

高齢者世帯の増加や就労形態の多様化等により、町内長・組長の負担が増している。

##### 【見直し後】

平成30年4月から、文書配付日は、原則毎月15日（月1回）としたい。

#### 質疑

##### 全戸直送にした場合は

委員 直送世帯の状況は。全戸直送とした場合の費用は。

当局 現在、約200世帯に直送し、宅配料は年間38万円ほど。全戸約4700世帯に直送した場合、宅配料で年間約900万円、その他諸費用も発生する。

地域の実情に即した、柔軟な対応を。

### 人口減少に歯止めを！

平成30年度からの白鷹町振興実施計画について説明を受けた。

#### 人口減少対策が急務

##### 【振興実施計画とは】

まちづくりを推進するための具体的な事業の内容を示すもの。

##### 【計画の期間】

平成30年度～32年度

##### 【ポイント】

- ① 出生数の急減に対応した人口減少緊急対策
- ② 効率的な施策の展開

#### 質疑

##### 住宅環境整備は有効か

委員 人口減少対策として、住宅環境整備は有効なのか。

当局 結婚を機に賃貸住宅を求めても、町内の賃貸住宅は限られて

注目!!

#### ◆人口減少緊急対策(主な事業)

|                               |
|-------------------------------|
| 子育て世代住宅<br>【賃貸住宅建設補助又は公営住宅整備】 |
| 子育て世代包括支援センター                 |
| 結婚時準備金支給                      |
| 移住の総合的支援【コンシェルジュ設置等】          |
| ※具体的な内容は、今後検討していく。            |

#### ◆その他の主な新規・拡充事業

|                                     |
|-------------------------------------|
| (仮称)町産材活用促進事業                       |
| 荒廃農地等利活用促進交付金事業                     |
| 地域コミュニティセンター管理運営事業<br>【地域づくり交付金の拡充】 |
| 介護保険施設整備事業<br>【特別養護老人ホーム等の移転新築】     |
| ※今後の状況により、計画内容に変更があり得る。             |

いるため、近隣市に転出する事例もあるとみている。町内の賃貸住宅の整備が重要と考え

あらゆる手段を講じて、人口減少に歯止めを。

#### その他

- 平成29年度給与改定等
- 定住自立圏構想
- 第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画
- 第8次高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画
- などについて説明があった。

| 農用地区域 (単位：ha) |        |        |
|---------------|--------|--------|
|               | 変更前    | 変更後    |
| 農業振興地域総面積     | 7003   | 7003   |
| うち農用地区域       | 3642.2 | 3050.9 |

※農業振興地域総面積は変更なし。

絞る。  
◆【策定のポイント】  
農用地利用計画  
確保すべき農用地を

農業者数の減少・高齢化、荒廃農地等の増加など状況が変化している。

農用地、区域が変更

農業振興地域整備計画の変更

産建文教常任委員会

## 効率的な農地利用拡大を

12月8日に委員会が開催され、「白鷹町農業振興地域整備計画の変更」「農業委員会における非農地判断」について説明を受けた。

質疑

町民への周知は

委員 区域変更は影響を及ぼす。周知は。

当局 国の助成等を受ける場合、農用地区域であることが条件となる。縦覧期間を設け、図面も含め開示する。



非農地判断を待つ農地



非農地化により変わる税制への対応を。



移動販売でコミュニケーション

その他  
○日本の紅（あか）連携推進事業  
○水道事業経営戦略（案）  
○町道路線の認定  
について説明があった。



買い物困難者への対応を。

◆農業生産基盤整備  
生産調整に対応した耕作条件改善など

◆農用地等の保全  
日本型直接支払制度

◆総合的な利用促進  
担い手への農地集積

◆担い手育成・確保  
新規就農者の支援体制整備

非農地について事前確認通知

【概要】

山林のような状態で、農業機械では再生困難な「非農地」と認められる土地の所有者に、事前の確認通知を行う。

農業委員会における非農地判断

質疑

非農地の判断は

委員 農地への復元が困難との判断基準は。

当局 農業委員、最適化推進員がパトロールする。地目が畑でも、杉があり周囲も山林のような、明らかに復元が困難な場所について、非農地と判断する。

実証実験を延長へ

【利用者の声】

「御用聞き事業」「買い物ポイントサービス事業」「移動販売支援事業」とも、事業継続を望む声が多数あった。

【今後の対応】

買い物支援の必要性は高いが、実証期間が短く、利用者も多くないうことから十分な検証には至らず、実証期間を1年間延長の予定。

質疑

実施地区の拡大は

委員 事業実施地区を広げる考えは。

当局 実証実験を1年延長し、拡大よりも、まずは、課題等を踏まえ、より良い事業にしていきたい。

## 高齢者に対する買い物支援

買い物環境充実支援事業の状況について説明を受けた。

# 議員管外研修



10月12日から13日、議員全員で、岩手県住田町と同県大槌町を視察し、研修を行なってきました。

森林活用の

先進地に学ぶ

## 【目的】

町の約65%を山林が占め、大半が伐採期を迎えている白鷹の現状を踏まえ、森林資源利活用の先進地を訪れ、事例を学ぶ。

## 【視察先】

- ①東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県大槌町
- ②古くから林業の盛んな同県住田町

## 復興の状況

大槌町では当時の状況を聞き、あらためて津波の恐ろしさを感じた。いたるところで復興工事が行われているが、まだまだ時間がかかるとのこと。

## 木材の活用

### 復興と森林再生

両町とも山林が町の面積の大半を占めている点で共通している。

震災後、復興を進めるにあたり、いち早く「里山再生と森林産業振興」に着目した。

## 大槌町の取り組み

復興事業において、資材に木材を多く取り込んでおり、どちらかと言えば「利用型」。

## 住田町の取り組み

いち早く「木造仮設住宅提供」で話題になるなど、新たな木材利用を考える、どちらかと言えば、町外に向けた「供給型」。

## まとめ

### 先進地に学ぶ

地元資源活用の観点から、産業としての育成に力を入れていることや、多様な担い手の受け入れの寛容性など、学ぶべきことは多かった。

## 白鷹の今後に向けて

今後進めるべき方向性は、具体的にどこに照準を合わせるべきか、両町の戦略を参考にしながら、再度の議論が必要である。

「災害防止対策・里山再生」の観点とともに、「需要と供給」の経済原則の観点も重要で本町の、木材利用の新たな発想や取り組みに期待したい。



復興が進む大槌町



被災した大槌町役場



木の特性を活かした屋根（住田町役場）



## 議会運営委員会研修

11月7日から8日、議会運営委員会、神奈川県海老名市と同県寒川町を視察、研修を行なってきました。

### 海老名市議会

海老名市は若い議員が多く、議論を重ねて結論を出す活発さが感じられた。

### 海老名市中央図書館

民間の知識を生かし、随所に利用者と呼び込む工夫が見られた。本町図書館の運営にも活かされたい。

### 寒川町議会

寒川町議会では「タブレット端末」を導入し、資料作成の容易化、配布コスト等の削減をはかっている。本町でもICT化を検討するに値すると感じた。



利用者であふれる  
海老名市の図書館

### まとめ

民意が多様化し、自治体の意思決定を行う議会の役割は更に重要性が増している。議会活性化に対する能動的な姿勢をあらためて学んだ。

## 議会広報特別委員会 議会広報研修

9月28日から29日、議会広報特別委員会、全国町村議会広報研修会（東京）に出席しました。

子どもにもわかるように編集の第一線で活躍する3人の講師から研修をうけた。

「中学生にもわかるように書くこと」が大事であることや、文章を短くするコツなども学んだ。

さらに『伝わる広報紙』を目指し、取り組みでいきたい。



## 臨時議会

### 10月6日 第8回臨時議会

- ・白鷹町防災倉庫整備工事請負契約の締結  
契約の方法 指名競争入札  
契約金額 5270万4000円  
契約の相手方 丸ト建設株式会社

### 10月27日 第9回臨時議会

- ・道の駅白鷹ヤナ公園ヤナ場改修工事請負契約の締結（ヤナ本体の改修と管理橋の補修など）  
契約の方法 指名競争入札  
契約金額 8316万円  
契約の相手方 衣袋建設株式会社



鮎まつりでにぎわうヤナ場

## 表紙

おまつり大好き

さくらの保育園

しし舞あそび

ホールいっぱいにおまつり太鼓。

町の無形文化財、鮎貝八幡宮の七五三獅子舞は、鮎貝、蚕桑の各地に、古くから伝わります。

おとな顔負けの太鼓と舞いは、お父さんやお兄ちゃんに教わりました。小さい子たちも幕を持つて追いかけてます。みんなお祭りが大好きで、毎日のようにあそんでいます。



# 希望のあるまちづくり

## 議会と行政のあり方について



遠藤 幸一  
議長

地方分権が進み地方自治体は自己決定・自己責任が原則となり、議会の果たす役割と責任はますます重くなっています。地方自治においては、二元代表制がとられ、その一翼を担う議会としては、執行機関に対する監視機能の充実・強化はもとより、政策立案機能を高めていくことが求められています。そして、首長追随型からは々非々型の議会へシフトし、行政と議会がお互い切磋琢磨し、住民福祉の向上を果たすことが重要です。

また、多様化する住民の負託に応えるため、議会での議論に加え、政策提言の提出なども行い、活発な議会活動に取り組んでいます。更なる議会活性化には、変化する情勢を素早く把握し、開かれた議会、合理的な議会運営を目指していきます。また、議員のなり手の確保のため、処遇改善を踏まえた環境整備に取り組んでいきます。

## 紅花生産と利用拡大における白鷹町の将来について



今野 正明  
議会運営委員長

中近東地域が原産の紅花は、3世紀前半に日本に伝来し、我が町の栽培は、1590年代の検地を基に編さんされた古文書「邑鑑」で立証されている。

白鷹の紅花（正確には口紅や染織等に使用する紅花から作った「紅もち」のこと）は現在、全国の約6〜7割の生産量（日本一）となっている。その

「紅もち」から採れる「紅」色素は、皇室などの日本の国事行為や伝統行事等に使用されている。

このように日本の紅

を生み出している白鷹の紅花の将来を展望すれば、先ずは、質の良い歴史と伝統に裏打ちされた「紅もち」等の栽培加工を行うことが肝要と考える。その上で、紅花の薬理効果や特異性を活かした商品開発や交流人口拡大等々は、私たちの創意工夫次第であろう。

「日本の紅をつくる町」、「SHIRATAKAREED」などの言葉を一過性にするのではなく白鷹の将来につながるは、今、私たちがまちづくりの全てに最善を尽くすことに他ならないと思う。

# 私たちは考える

——ベテラン議員が、町民目線に立った  
信頼される議会を目指して——

## 女性議員から見た議会の あり方について



関 千鶴子  
総務厚生常任委員長

初当選時に議会事務局の職員の方から「女性だからといって一人でお茶くみしない方がいいよ」と言われたことを、私は今も忘れられない。また、食べるのが遅い私に「食べていいよ」と言ってくれて、同期の議員がお茶くみを始める姿も覚えてい

る。議会の中では、「女性だから」という自身の甘えや不利な条件があつてはならないと思う。

議員は、町民の皆様  
の思いや願っているこ  
とを聞き物事を考え、  
自身のそれなりの識見

と信念を持った発言を  
しなければならぬと思  
う。そのために、求  
められるのが「勇気」  
と「奮起」であろう。

かつて、議会基本条  
例を先駆けて制定した  
北海道栗山町に視察に  
行った際、対応いただ  
いた議員に「議会は野  
党」と言われた。首長、  
議員はともに選挙で選  
ばれた対等の立場にあ  
ることを理解し、町民  
の皆様の立場に立った  
行動をする議員の集合  
体としての議会であり  
たい。

## 白鷹町の農業の未来に ついて



菅原 隆男  
予算特別委員長

平成30年度から米の  
生産数量目標の配分と  
米の直接支払い交付金  
の廃止など米政策等が  
見直しされます。米生  
産農家にとっては、所  
得減少、生産過剰と米  
価下落など、影響が懸  
念されます。

人口減少、高齢化が  
加速する中、町の「農  
業振興地域整備計画書」  
によると、農家世帯が  
昭和50年3000世帯、  
平成27年1279世帯、  
農業従事者は昭和50年  
4676人、平成27年  
718人まで減少して  
います。農業従事者の  
高齢に伴う離農も増え

ており、荒廃地や耕作  
放棄地が点在していま  
す。

町の農業政策は、意  
欲ある担い手の育成、  
農地の集積・集約など  
で農業経営基盤強化を  
はかるとしています。  
耕作放棄地は中山間地  
域に多く、地域によつ  
ては農地集積に課題が  
あります。農業従事者  
が意欲を持つて生産に  
努められるよう、農業  
経営の安定と将来にわ  
たり持続可能な取り組  
みを、農家、地域、行  
政そして議会が一体と  
なり取り組むべきです。

# 白鷹の木材 利活用始まる

## まずは公共的な施設から

町の約65%を占める森林。まさに宝の山ともいえる地元資源の利活用が本格的に始まった。里山の再生に向けた第一歩となることを期待する。



●愛真こども園  
平成30年完成予定



●まちづくり複合施設  
平成32年完成予定

### ◆山主による木の 出荷



手入れ・伐採

### ◆町内企業による木材の供給



集積



乾燥・製材

### ●特別養護老人ホーム白光園 平成32年完成予定



予定地（旧白鷹西中跡地）



### ●日本の紅(あか)を つくる町推進拠点施設 (十王地内) 平成30年完成予定



今後の町産材利用と木材産業の推進は、行政がリードすべき。

# 追跡レポート 白鷹町デマンドタクシー

## これまでの議会質疑

- ◆利用料が2年連続減少している。利便性を向上させる取り組みが必要では。(H28・9月議会)
- ◆高齢者単独世帯やバスの運行がない地区民の利便性を高める施策を。(H28・9月議会)
- ◆運行システムが使い勝手に合っているか検証し、仕組みづくりの工夫を(H28・12月議会)

## ！ 利用促進の取り組み

- 未就学児は無料(H20・8月から施行)
- ゆーかーどの満点券も利用可(H20・9月から施行)
- 障がい者手帳の提示で利用料が1回250円(H22・6月から施行)
- 運転免許自主返納者(65歳以上)に回数乗車券を贈呈  
合わせて利用料が1回300円(H29・4月から施行)
- 買い物ポイントカード発行(H29・5月から施行)
- 土曜日の試験運行  
(H29・6月～7月実施 H30・1月～2月のみ実施)



## 様々な取り組みで、今年は利用者が増加

| 利用者数<br>(H29年度) | 4月         | 5月         | 6月         | 7月         | 8月         | 9月         | 10月        | 11月        | 川東エリア<br>川西エリア |
|-----------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|----------------|
|                 | 266<br>292 | 270<br>301 | 274<br>317 | 280<br>320 | 302<br>320 | 281<br>337 | 279<br>343 | 312<br>312 |                |

## 利用者の声から見える課題

- 待ち時間が長い。(1時間ほどの待ち時間の場合もある)
- 30分ごとに運行してもらいたい。
- 乗合なので余計な気を使ってしまう。
- 時間的な予定が立てられない。

## 事業者からひと言

デマンドタクシーは玄関先まで送迎しますが、個人が依頼するタクシーというよりも、相乗りバスに近いご利用となります。



○今後、高齢者のための利便性、安全性などあらゆる面から、運行システムの検討が必要。

○デマンドタクシー利用拡大のための時間設定の周知と、利用者ニーズの声を大切に。業者任せにしない。



横澤 禎二 先生  
(蚕桑地区)

わたしが、  
話し相手に  
なります。

## シリーズ

# まちのドクター先生！

みんなを元気に！

新シリーズの3回目  
は横沢医院の横澤禎二  
先生です。

### プロフィール

**東** 邦大学医学部卒業  
後、大学の研究室に勤  
務。その後、横須賀の  
刑務所の医者として勤  
務しました。

平成元年に紺野町長  
の強い要請により、白  
鷹町立病院に勤務。

平成6年に現在の場  
所で開業し、23年目と  
なります。

### 医師になるきっかけは

**祖** 母が東邦大学医学

部の前身の帝国女子医  
学専門学校出身で、開  
業医だったため、その  
影響からです。

### 専門はなんですか

**消** 化器内科です。

(食道・胃・腸など)

### 気になること

**白** 鷹町には胃がんの  
患者が非常に多くいま  
す。胃がんの原因の99  
パーセントがピロリ菌  
であり、若い時に検査  
する機会を作ればと  
考えます。

### 心掛けていること

**白** 鷹町では高齢者世  
帯の方が多くいます。  
まずは患者さんの話を  
聞き、話し相手になり  
ながら患者さんの病氣  
を見つめるようにして  
います。

### これからの白鷹町の

**医療体制について**

**開** 業医のみならずも  
高齢化してきている中  
地域に密着した形の医  
療のあり方が大事です。  
若い医者の方々の中  
も、地方での開業を考  
えている人もいますよ  
うです。

このような情報をみ  
んなで集めて、白鷹町  
に来てもらうための努  
力を、そして、白鷹町  
立病院との連携を、さ  
らに推進すべきです。

### ひとことアドバイス

**人** 生において、一日  
一日を悔いのないよう  
に暮らすことを大事に。

### 町へ望むこと

**川** 西地区、川東地区

の格差が拡大している  
と感じている方が多い  
バランス良く、格差の  
ない、生活しやすい地  
域にしていきたいで  
す。

介護や医療関係の職  
員の方々の意見を多く  
聞き、問題解決の推進  
のための議員活動も望  
みます。

### 取材を終えて

白鷹町立病院と開業  
医さんが連携し、町民  
の健康や、病気の早期  
発見のため、大切な役  
割を担っていることを  
あらためて学びました。



お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧  
いただけます。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを  
議会事務局までお寄せください。

### 広報委員

委員長 奥山 勝吉  
副委員長・編集長 佐々木 誠司  
委員 石川 重二  
委員 笹原 俊一  
委員 渡部 善美  
印刷・(有)梅津印刷

### 編集後記



▼今期は例年になく早  
い降雪となりましたが、  
12月定例会には、足元  
の悪い中、多くの傍聴  
の方がおいでになりま  
した。  
議事の内容が皆様に  
伝わるよう、できるだけ  
簡潔に、わかりやす  
い言葉使いを心掛けな  
ければならないと、あ  
らためて感じました。

▼アンケート葉書を添  
付いたしました。

議会に対する、また  
は『議会だより』をお  
読みになつてのご意見  
ご感想を気軽に聞か  
せください。皆様の声  
を参考に、より気軽に  
読める『議会だより』  
となるよう、広報委員  
一同努めてまいります。  
(佐々木)

